

2020年(令和2年)6月16日 火曜日

◆オールファルカタ合板

持続可能な生産体制

双日建材

双日建材（東京都、稻田隆社長）の環境配慮型商品の筆頭格が、国産針葉樹塗装型枠用合板「ドルフィンコート」だ。東京都が環境物品調達方針をさらに厳格化するなど、公共物件での環境配慮型商品の採用率は高まっている。こうした流れを受けて、引き続き販売を強化していく方針だ。

ドルフィンコートはフェースパックにロシニア産カラ松单板、芯に国産カラ松を使った森

2020年(令和2年)6月16日 火曜日

（東日本高速道路）がNEXCO東日本（東日本高速道路）が受け取った方針だ。NEXCO東日本（東日本高速道路）が一部の現場で橋梁のペンキの塗り替えの際の養生用としてドルフィンコートを採用。塗装型枠用としての利用で観とマッチすることがはないが、森林認証品

林認証商品。基材の表面には、節が少ない良質な合板を選別して使

用。表面塗装を7回重ねることで、塗装面の平滑性を高めている。



緑が映えるドルフィンコート

オリジナルの環境配慮型商品「キープアース」のオールファルカタ合板も月間4500～5000立方㍍を生産している。インドネシアのスメルと代理店契約を結び、オールファルカタ合板として日本で初めてJASを取得した商品だ。

昨年には、インドネシアの森林認証であるサステナブルプロダクションフォレストマネジメントを取得。今後現地の素材生産者と協力して、持続可能な生産体制を整備する。

3～4年後には、オールファルカタ合板は

が、この緑色が好評だ。NEXCO東日本（東日本高速道路）が一部の現場で橋梁のペンキの塗り替えの際の養生用としてドルフィンコートを採用。塗装型枠用としての利用で観とマッチすることがはないが、森林認証品

であることと、奇麗なう。

2019年度の平均

月間販売枚数は10万枚。販売先は納材業者

向けが6割、ホームセンター向けが3割、残り1割が問屋流通などだ。

大手住宅メーカーからクッショングロアの下地材としての引き合

いが増えるなど、市場の裾野が広がっている。今後もファルカタの滑らかな表面性を生かした提案を進めいく。キープアースも今期拡充を図る。